

札幌市円山動物園基本方針「ビジョン 2050」第 1 次実施計画の取組結果(各指標実績値)

重点項目	数値目標		実 績				
	指標	2018→2023	2019	2020	2021	2022	2023
保全	「飼育展示していく動物種の考え方」に基づく推進種や希少種の繁殖種数(累計)	10 種	7 種 オランウータン、スンダ スローロリス、ミヤコカナヘビ、カンムリシロムク、ユキヒョウ、オオワシ、フンボルトペンギン	8 種 (追加分) スペングラーヤマガメ	13 種 (追加分) シマフクロウ、ラオスマ エギハコガメ、ニホンザ リガニ、ヒラセガメ、シ ロテテナガザル	14 種 (追加分) ヒメトガリネズミ	15 種 (追加分) アジアゾウ
	生息域内保全活動の実施回数 (単年度平均)	11 回→20 回	26 回	56 回 ・コウモリ調査 (32 回) ・外来植物駆除活動 (17 回) ・道内での野生動物調査 (3 回) ・シンポ及び展示会 (2 回) (海鳥展、は虫類密輸シンポ) ・ニホンザリガニ調査 (2 回)	176 回 ・コウモリ調査 (161 回) ・外来植物駆除活動 (11 回) ・道内での野生動物調査 (1 回) ・シンポ及び展示会 (2 回) (海鳥展、ザリガニ会議) ・ニホンザリガニ調査 (1 回)	194 回 ・コウモリ調査 (175 回) ・外来植物駆除活動 (11 回) ・道内での野生動物調査 (4 回) ・シンポ及び展示会 (2 回) (海鳥展、ザリガニ会議) ・ニホンザリガニ調査 (2 回)	49 回 ・コウモリ調査 (35 回) ・外来植物駆除活動 (11 回) ・道内での野生動物調査 (1 回) ・シンポ及び展示会 (2 回) (海鳥展、コウモリフェスティバル)
教育	園内における解説やガイド実施数	1,277 回/年 →1,350 回/年	1,017 回/年	329 回/年	389 回/年	1,238 回/年	1,192 回/年
	総合学習等の受入れ人数	8,968 人/年 →10,000 人/年	11,435 人/年	2,883 人/年	5,628 人/年	7,919 人/年	8,514 人/年
調査・研究	学会等で調査・研究内容を発表した回数 (単年度平均)	3 回→5 回	14 回	2 回 ・希少野生動物の生息域外保全に関する連絡会議でのミヤコカナヘビに関する報告 ・宮古諸島の希少種保全・外来種問題に係る複数の事業関係者による連絡会議	10 回 ・全国動物園技術者研究会でのミヤコカナヘビに関する報告 ・関東東北北海道ブロックでの報告 (2 回) ・野生動物医学会での報告 (2 回) ・種保存会議での報告 (2 回) ・その他会議・研究会での報告 (3 回)	7 回 ・北海道地区飼育技術者研究会での報告 ・全国動物園技術者研究会での報告 ・関東東北北海道ブロックでの報告 (3 回) ・野生動物医学会での報告 ・その他会議・研究会での報告 (2 回)	8 回 ・北海道地区飼育技術者研究会での報告 (2 回) ・全国動物園技術者研究会での報告 ・野生動物医学会での報告 ・その他会議・研究会での報告 (4 回)
	調査・研究内容の情報発信	0 回/年 →5 回/年	3 回/年	3 回/年 ・ミュージアムマネージメント研修会での報告 ・海鳥展講演会での報告 ・は虫類の密輸に関するシンポジウム	3 回/年 ・春国岱エゾシカ関係者意見交換会での報告 ・海鳥展講演会での報告 ・ウミガラス保護増殖検討会での報告	3 回/年 ・第4回ニホンザリガニ円山会議での報告 ・北海道大学トガリネズミ展での報告 ・春国岱エゾシカ対策に係る関係者情報交換会での報告	3 回/年 ・コウモリフェスティバルでの報告 ・エゾシカによる海浜植生への影響に関するシンポジウムでの報告 ・屠体給餌に関するワークショップでの報告
リ・クリエーション	冬季来園者数 (11～3月)	254,505 人 →300,000 人	154,153 人 ※3月休園	130,177 人	158,888 人	204,713 人	235,828 人
	来園者の満足度	毎年向上 ※2018 年度未実施	98%	98%	97%	96%	97%
動物福祉	ハズバンダリートレーニング実施種(累計)	19 種→35 種	20 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ	22 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ、 <u>チンパンジー</u> 、 <u>ダイアナモンキー</u>	24 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ、チンパンジー、 <u>ダイアナモンキー</u> 、 <u>ライオン</u> 、 <u>ハイエナ</u>	25 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ、チンパンジー、 <u>ダイアナモンキー</u> 、 <u>ライオン</u> 、 <u>ハイエナ</u> 、 <u>スローロリス</u>	26 種 レッサーパンダ、エゾリス、マレーグマ、カワウソ、シマウマ、ゾウ、ユキヒョウ、アムールトラ、キリン、カバ、クロザル、アライグマ、ミニホース、ヒマラヤグマ、アザラシ、ホッキョクグマ、ヒグマ、オランウータン、シンリンオオカミ、アカハナグマ、チンパンジー、 <u>ダイアナモンキー</u> 、 <u>ライオン</u> 、 <u>ハイエナ</u> 、 <u>スローロリス</u> 、 <u>ワオキツネザル</u>
	動物福祉評価	実施完了 ※2018 年度未実施	未実施	条例制定後の実施に向けて準備	条例制定後の実施に向けて準備	札幌市円山動物園動物福祉規程を策定 (2023 年 3 月 9 日施行)	動物福祉規程策定後、第 1 回目となる動物福祉評価を実施

目標値以上に到達	目標 7 割以上に到達	目標の 7 割未満
----------	-------------	-----------